

北名古屋市議会だより vol.60

またる



予算特集

平成
30年度版

第1回定例会において審議された予算のうち
主な事業を紹介していきます。

豊かな学びと心を育み
文化の薫るまちづくり

スクールソーシャルワーカーの設置

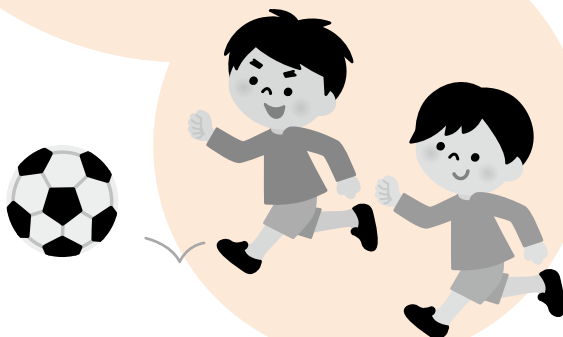
133万6千円

児童生徒の様々な課題に支援を行う
スクールソーシャルワーカーの設置

中学校部活動指導員の設置

345万6千円

中学校の部活動に市民や関係団体の
協力により指導員を配置



健康で

生きがいを持って暮らせる
まちづくり

小規模保育事業

3億9,380万4千円

待機児童対策として小規模保育事業所を増設

母子保健事業

1億2,738万2千円

妊娠期から
子育て期にわたるまでのケア



まちづくりのためって
どんなことに
お金を使うの？



安全・安心で
環境にやさしいまちづくり

住宅耐震化等促進事業

2,320万8千円

住宅の耐震診断、耐震改修補助

消防ポンプ自動車購入

1,647万円

消防団が使用する
消防ポンプ自動車を購入



快適で
利便性の高いまちづくり

市内循環バス事業

6, 827万8千円
高齢者にやさしいきたバスの運行

児童遊園整備事業

1, 200万円
児童に安全な遊び場所を
提供

協働と連携のまちづくり

公共施設個別施設計画策定事業

2, 054万7千円
公共施設の維持管理等の方針を定める

議会ICT推進事業

322万5千円
議会及び議員活動の
合理化・効率化を図るため
タブレット端末を
全議員に貸与



魅力的で
活力あるまちづくり

北名古屋沖村西部 土地区画整理事業

8億2, 200万円
新たな工業系市街地の整備



CONTENTS

第1回定例会の結果	P 4
傍聴案内	P 11
第2回定例会の予定、編集後記	P 16

一般質問	P 8
委員会における審査報告	P 12

平成30年 第1回定例会の結果

会期28日間 2月23日～3月22日

今回の議案



条例等の制定及び改正・11件

新年度予算・・・・・・・・7件

補正予算・・・・・・・・4件

人事案件・・・・・・・・3件

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第1号	北名古屋市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	全員賛成 原案可決
議案第2号	平成29年度北名古屋市一般会計補正予算（第5号）について	
議案第3号	平成30年度北名古屋市一般会計予算について	賛成多数 原案可決
議案第4号	平成30年度北名古屋市土地取得特別会計予算について	
議案第5号	北名古屋市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	全員賛成 原案可決
議案第6号	平成29年度北名古屋市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	
議案第7号	平成30年度北名古屋市国民健康保険特別会計予算について	賛成多数 原案可決
議案第8号	平成29年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	全員賛成 原案可決
議案第9号	平成30年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計予算について	
議案第10号	北名古屋市国民健康保険条例の一部改正について	賛成多数 原案可決
議案第11号	北名古屋市国民健康保険税条例の一部改正について	
議案第12号	北名古屋市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	全員賛成 原案可決
議案第13号	北名古屋市医療費支給条例の一部改正について	
議案第14号	平成30年度北名古屋市介護保険特別会計予算について	賛成多数 原案可決
議案第15号	北名古屋市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	
議案第16号	北名古屋市介護保険条例の一部改正について	全員賛成 原案可決
議案第17号	北名古屋市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部改正について	

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第18号	北名古屋市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	 全員賛成 原案可決
議案第19号	平成30年度北名古屋市北名古屋沖村西部土地区画整理事業特別会計予算について	
議案第20号	平成29年度北名古屋市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	
議案第21号	平成30年度北名古屋市公共下水道事業特別会計予算について	
議案第22号	北名古屋市都市農業振興基本計画策定委員会条例の制定について	 全員賛成 原案同意
議案第23号	北名古屋市固定資産評価審査委員会委員の選任について	
議案第24号	北名古屋市固定資産評価審査委員会委員の選任について	
議案第25号	北名古屋市固定資産評価審査委員会委員の選任について	

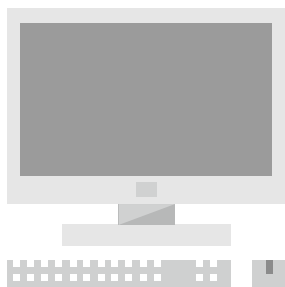
今号では、色の付いている議案をピックアップします。
 なお、議案質疑等は
 委員会のページ（P12～P15）に
 掲載しております。



全ての議案内容は、
 北名古屋市ホームページの
 「議案・請願とその審議結果」
 をご覧ください。

インターネットで議会の録画中継や議案の 審議結果等が見られます

北名古屋市議会では、インターネットで議会に関する
 様々な情報をご覧いただくことができます。



是非、この機会に市民の皆様の
 アクセスをお待ちしております。

北名古屋市議会

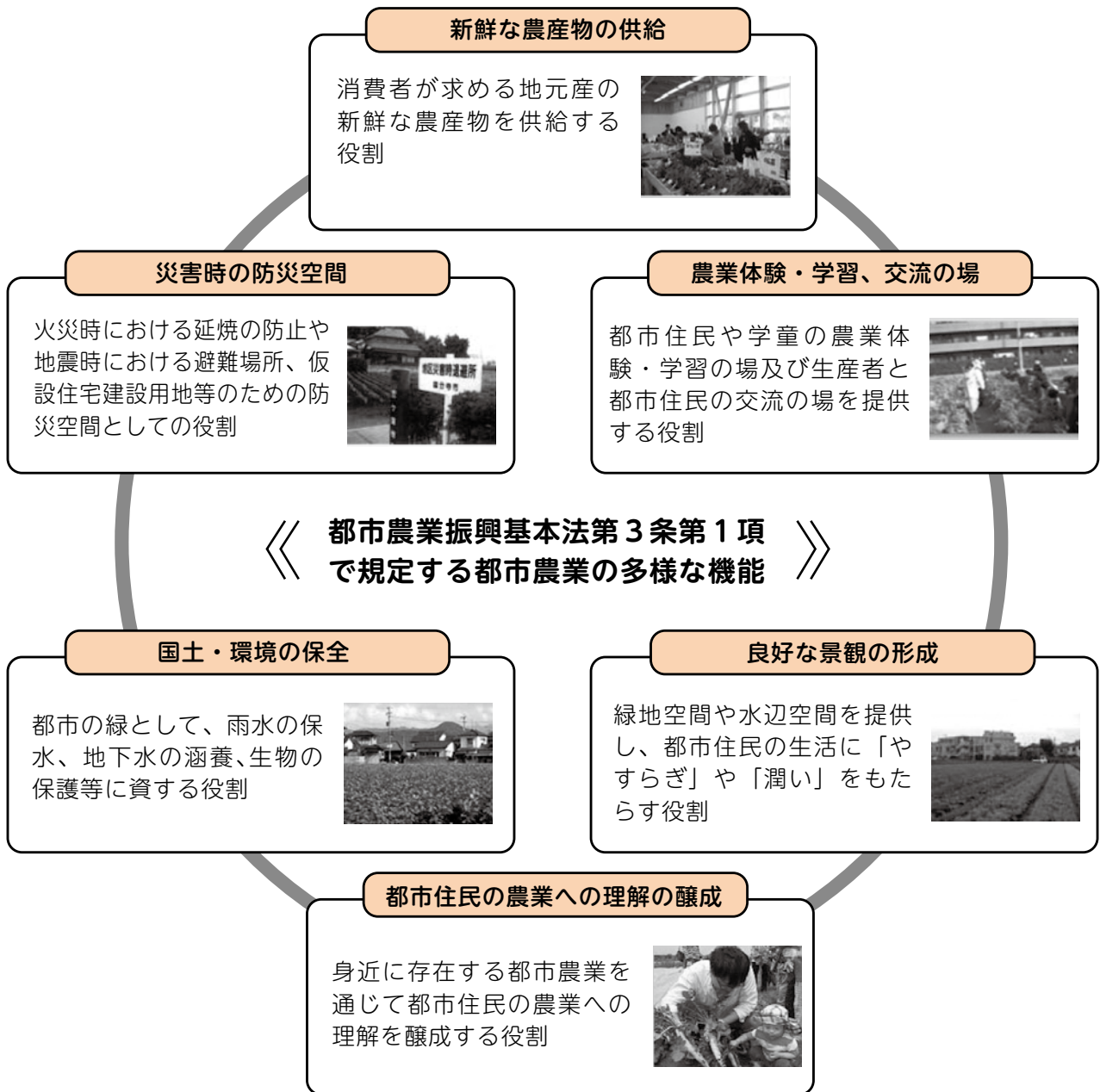
検索

※通信料等はご利用者負担となります。

ホームページは
 こちらから



都市農業振興基本法の規定に基づき、北名古屋市における都市農業の振興に関する計画を策定するため、北名古屋市都市農業振興基本計画策定委員会を置く。



出典 農林水産省 HP 都市農業振興基本法のあらまし

Pick up

都市農業振興基本法は、都市農業の安定的な継続を図るとともに、多様な機能の適切かつ十分な発揮を通じて、良好な都市環境の形成に資することを目的として、平成27年に制定されました。策定委員会の委員は学識経験者や農業者、農業団体の代表者などで構成されます。

条 例

北名古屋市国民健康保険税条例の一部改正について

可決

国民健康保険事業の運営主体が市から愛知県に移行され、事業に要する費用となる事業費納付金に充てる国民健康保険税について定めるとともに、財政基盤の安定を図ることを目的として、被保険者の国民健康保険税の負担を見直すことに伴い、条例の一部を改める。

区 分	医療給付費分		後期高齢者支援金分		介護納付金分 (40歳～64歳)	
	改正前	改正後	改正前	改正後	改正前	改正後
所得割額	5.5%	5.9%	1.8%	2.0%	1.5%	1.7%
資産割額	10.5%	廃止	2.0%	廃止	2.0%	廃止
均等割額 (1人当たり)	17,200円	18,800円	5,600円	6,600円	5,000円	6,500円
平等割額 (1人当たり)	19,800円	19,500円	7,000円	6,700円	5,000円	5,000円
賦課限度額	540,000円	540,000円	180,000円	190,000円	140,000円	160,000円

※ 1世帯の年税額 = 医療給付費分 + 後期高齢者支援金分 + 介護納付金分

★ Pick up ★

国民健康保険税の算定から資産割については廃止となりますが、上記のとおり所得割額、均等割額及び平等割額の税率、賦課限度額が改正されることにより、1世帯当たり平均で約2,060円の増額となります。また納付回数が年10回から9回へと変わります。

市議会モニター意見箱 ～第1回 定例会～

平成29年度の市議会モニターは8名の方が活躍されました。ここでは、いただいたご意見を紹介します。

- ・ 傍聴する際の貸し出し資料を見やすくしてほしい。
- ・ 市議会の一層の進展を望む。
- ・ 傍聴者へのタブレットの貸し出しを期待する。
- ・ 意見、討論が多く、内容がよく理解できた。
- ・ わかりやすく、丁寧な説明をしてほしい。



一般質問

質問議員 6名

資源循環型社会の実現について

渡邊 幸子（市政クラブ）

家庭ゴミには資源が多く含まれており、言い換えれば資源というお金を捨てることにつながる。さらに、ゴミが多ければ焼却費用もかさむ。平成26年度は、市民1人1日当たり5548の家庭系ゴミを排出しているが、家庭系資源量は市民1人1日当たり151.78の回収であった。北名古屋市環境基本計画では「資源が循環するまち」として平成32年の目標値を定めているが、これに向けた本市の取り組みの現状と、今後の達成見込みについて伺う。

防災環境部副参事

平成32年の目標値として、市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量を5368、資源回収量を2438と掲げた。平成28年度には家庭系ごみ排出量が5398と目標達成までわずかであるが、資源回収量は1308と目標達成に遠く及んでいない。原因としては民間の資源回収ボックスの影響と、可燃ゴミへの混在が考えられる。そのため、市役所内での

雑紙分別の試験運用を実施し一定の成果が得られた。その結果を普及拡大させるため、平成30年6月から市内2箇所の資源集積所に常設の古紙古布専用回収ボックスを設置する予定。分別の徹底により資源回収量を増やし、ごみ処分費削減に努める。



市常設資源集積所（ジャンボプール北）

リフレッシュ保育の拡充について

齊藤 裕美（公明党）

一時保育事業の中で今年度から開始されたリフレッシュ保育は、月に一度のみの利用となっている。2人の自閉症のお子様を持つ保護者から、下のお子様を連れて上の子の幼稚園行事に参加するのが困難なため、リフレッシュ保育を利用している。預けることができない時はファミリーサポートセンターを利用するが、費用が高く金銭的負担が大きいと相談を受けた。「出産・子育てに向く街ランキング」1位の本市だからこそ、条件緩和や定員の拡大、またファミリーサポートセンターの利用料補助等、より手厚い支援拡大について当局の見解は。

児童課長

リフレッシュ保育は保護者がお子様から離れ、育児負担の軽減ができるリフレッシュの時間として大切な制度と考える。また、障がいを持っているお子様を連れての行事参加等の支援も重要と考える。平成30年度からは九之坪保育園と民間事業者で合わせて24名定員で実施するとともに、児童発達支援事業所の利用枠を広げ利用条件や定員の拡大を実施していきたい。ファミリーサポートセ

ンターの利用料補助については、限られた財源の中であるが研究していきたい。

その他の質問

・児童発達支援事業所の利用料等の支払い方法について



一時保育事業実施保育園（九之坪保育園）

市内の信号に音声ガイダンスの充実を

大原 久直(日本共産党)

市内に音声案内がある信号機は9か所と聞く。西春駅西交差点は音声案内だけでなく、赤信号で渡ろうとすると危険を知らせてくれるという。ここまで進んでいる一方、押しボタン信号でも音声案内が無い場所がある。目の不自由な市民の方より、押しボタン信号で音声案内がないことから、大変怖い思いをしたとの声が届いた。ボタンを押すと一定時間で青になるが、誰かが渡った直後だと、次の青まで時間がかかる。目の見えない人は音声案内がないと、誰かが渡ったことも、信号がまだ赤であることもわからない。全ての方が安心して外出できるように、音声案内がある信号機の増設が必要と考える。当局の考えは

防災環境部次長

警察署に照会したところ、音の出る信号機は、視覚障害者の利便性、安全性の向上を図ることを目的に、視覚障害者の方が立ち寄られるような施設の周辺等を優先に設置をしているとの回答だった。また、安全を図るための音が逆に騒音となり、トラブルになるケースもあるため、設置には周辺住民の理解が必要とのこ

とだった。市としては、今後要望を受けた際、地区の皆様のご意見をお聞きしながら、警察と協議していく。

その他の質問

- ・自治会からの要望の実現について
- ・野良猫の避妊手術に補助制度の創設を
- ・育児時に3歳未満でも保育の実施を



押しボタン信号 (東庁舎北)

子どもの貧困対策について

渡邊 麻衣子(日本共産党)

平成28年に実施された愛知子ども調査によると県内の子ども貧困率は全国平均を大きく下回ったが、ひとり親の子どもは全国平均を上回った。子どもの貧困は、外から見えにくく、認識がされにくい。自己肯定感が持てない等、子どもの成長に影響を与える。社会から孤立されやすい子どもの貧困を、社会全体の意識として持つことが大切と考える。こうした状況から、支援体制を充実させるため本市でも実態調査が必要では。また、子どもの貧困が社会問題になっていることの認識や本市の実態、貧困対策の現状はどうなっているか。

福祉部長

愛知子ども調査によると子どもの貧困率は県全体で5.9%、本市が属す尾張中央圏域は5.5%で県平均を下回っている。本市の実態としては、就労支援による自立の増加により、対象者は年々減少傾向にある。本市では、子育て世代包括支援センターの設置、生活困窮者自立支援、家庭療育支援、市独自の遺児手当の支給及びひとり親家庭等福祉事業により保護者の生活の安定と自立

を図り、教育委員会では児童・生徒の学力向上に向けきめ細やかな指導が行われている。今後は、「子どもの貧困」を事業のキーワードに盛り込んで、支援策を研究していく。

その他の質問

- ・子どもの地域と支援をつなぐ「子ども食堂」に応援を
- ・子どもを丸ごと受け入れる中卒までの医療費無料化を



高齢者等のごみ出し支援について

上野 雅美(無会派)

自らゴミ出しをすることが難しい方々への家庭系ゴミの戸別収集に対する支援が、多くの自治体で始まっている。支援制度は直接支援型と、コミュニティ支援型があるが、現在、自治体による支援の9割近くは直接支援型である。また、自治体により異なるが、訪問時に声掛け等安否確認を行う仕組みを導入しているところもある。

本市でも高齢者の方や障がいをお持ちの方へのゴミ出し支援について、対象者の条件等を設けて取り組むべきではないか。また、本市の生活支援に関する安否確認の取り組み状況は。

福祉部次長

市としても、ゴミ出しを含めた生活支援サービスは重要な課題と認識している。本市では介護制度による生活援助、シルバー人材センターによるワンコインサービス、市の事業である軽度生活支援事業等を活用できる体制となっている。また、平成30年度より軽微な生活支援を行う総合事業を実施できる支援体制づくりや、社会福祉協議会への委託により生活支援コーディネーターの配置を

予定している。ゴミ出し支援についても、必要な方の状態に合わせた形でサポートできるよう検討していく。

見守りについては、介護等サビビ利用時や市の緊急通報システム、見守り協力員による見守り体制等がある。また、協定により新聞や牛乳の配達店、郵便事業者等への見守りをお願いしている。今後も更なる見守り支援をすすめていく。

その他の質問

ゴミ収集とごみの減量化について



シルバー人材センター

転入者の方々の町内会・自治会参加の課題について

阿部 武史(無会派)

去る1月にI・H・O・E代表、川北秀人氏の市民協働についての講演会が文化勤労会館で行われた。

①本市は地区ごとに年齢層、人口密度や特色が様々なため一つの処方箋でのまちづくりは難しいと思うが、講演内容をどのように生かしていくか。

②第2次総合計画での協働・行財政分野の自治会活動に参加する市民が現状値31・6%、2027年には40%の目標値となっている。今後この目標に向けてどのように参加を促していくか。

③転入者の町内会・自治会への勧奨等の課題を抱える地域に絞り対面のモニタリング調査をしては。

市民活動推進課長

①地域特有の課題を住民自治で解決できる新しい地域自治組織を生み出すための取り組みに生かされると考える。

②活動のきっかけとなる話し合いの場づくり、小さな課題から解決できる新しい地域自治組織のあり方を検討していく。

③地域課題を自分のことと捉え、地域の活動に積極的に関わるきっかけ

となる場づくりを一層推進し、その中で広く地域の皆様の声を聞かせていただきたいと考える。

その他の質問

- ・市内での交通事故の傾向について
- ・法成寺交差点の安全対策について
- ・AIによる自動運転時代のまちづくりについて
- ・石橋地区の建蔽率問題について
- ・石橋地区に公園の設置を
- ・マラソン・駅伝大会の交通規制への対応について
- ・多様な主体による協働でのまちづくりについて



北名古屋市の未来を語る講演会

本会議・委員会を傍聴してみませんか

本会議・委員会開催日（P16 臨時会・定例会の予定参考）に、市役所東庁舎4階東エレベーター前で傍聴受付を行います。本会議の受付時間は、本会議、委員会とも会議開始30分前からとなります。



第1委員会室



本会議場

※委員会は先着10名となりますのでご了承ください。

議会だよりがアプリで読めるようになりました。



マチイロ

北名古屋市議会では開かれた議会への推進を図るため、議会だより『きたしる』がスマートフォン等のアプリ【マチイロ】でも閲覧できるようにしました。

利用方法

1. 右のQRコードから、またはApp StoreやGoogle playにて「マチイロ」と検索して、アプリをダウンロードしてください。
2. インストールした後、性別、生年月日、お住いの地域などの個人設定を行ってください。

注意事項

※アプリは無料で利用できますが、通信料がかかります。（通信機器のご利用プランごとに異なります。）

※アプリ画面上に表示される広告は、株式会社ホープが募集し掲載しているもので、その内容は北名古屋市議会とは関係ありません。

プッシュ通知機能

最新号が出たらお知らせしてくれます。

オフライン閲覧機能

一度ダウンロードした議会だより等は通信なしで見ることができます。

スクラップ機能

気になる記事は画像として切り取って保存できます。

スムーズな操作性

ページめくりや拡大・縮小の操作も簡単にできます。



ios版



Android版

審査報告

～議案質疑内容を
紹介します。～

予算決算常任委員会

平成29年度一般会計補正予算(第5号)について



議員

市たばこ税が減収となっているが、要因としては何が考えられるか。

減収の要因としては、喫煙率の低下と、通常の紙たばこに比べて税率の低い加熱式たばこの普及の増加が考えられる。



財務部



議員

法人市民税が3億3,200万円ほど減った原因は。

主な減額の要因としては、平成29年度補正予算（第1号）で法人市民税を還付した大手の会社の影響であるが、市内に2,000以上ある法人の申告結果によって減額となっている。



財務部

平成30年度一般会計予算について

歳入全般



議員

ふるさと納税について、当初と比較すると増額となっている。他の自治体ではポイント制度などさまざまな制度で収入を得ているが、今後、制度の改良などについての考えは。

ふるさと納税業務について委託している業者のサイトが好評で、寄付金が増えている。今後も現在のシステムで行っていく。



財務部

歳出全般



議員

きたバス事業について、他市町の動向を踏まえてどのように考えているか。また市民からの要望については。

近隣市町の情報は集めており、今後参考にしていく。市民からバス停の設置やバスの時間など、様々な意見を集約して今後、路線を構築していく。



防災環境部

総務費



議員

監査委員について、現在2名と定められているが、監査業務は広範多岐に渡るため、体制の強化は必要ではないか。

行政の適正な運営の確保のために、体制強化の必要性は感じている。今後監査委員を補佐する監査支援員を導入していきたい。



監査委員事務局

委員会における

民生費



議員

がん検診について、集団検診と個別検診の受診料金に違いがあったが、来年度から同一の受診料金となっているのは。

受診料金の違いが問題となっていたが、受診者にとって選択肢を広げていただくために集団検診と個別検診の受診料金を同一にした。



市民健康部



議員

児童クラブ運営業務委託事業について、待機児童についてのニュースが流れているのを目にするが、北名古屋市の対応は。

児童クラブについて、定員があるが、申込者はすべて受け入れており、指導員を増やして対応している。



福祉部



土木費

議員

住宅リフォーム等促進事業について、11月頃には終了してしまうなどニーズは多いと考える。今後の考えは。

例年150件前後申請がある。当初は平成27年度までの予定だったが、来年度まで制度を延長して対応する。



建設部



消防費

議員

Jアラート（全国瞬時警報システム）について、緊急地震速報を市民に周知するまでの時間が遅いのでは。

来年度予算で機器の更新を計上しており、更新後は回線が現在よりは早くなると思われるが、より多くの情報を市民に知らせる事ができるよう検討する。



防災環境部

平成30年度北名古屋市国民健康保険特別会計予算について



議員

財政運営責任主体が市から県へ移行することへの影響や他市町の動向は。

被保険者にとっては保険税の増額が考えられる。他市町については、保険税を引上げ、据置き、引下げなど判断が分かれているが、被保険者の立場に立って保険税率の改定を行っていききたい。



市民健康部

審査報告

～主な議案質疑内容を
紹介します。～

福祉教育常任委員会



猶木委員長



渡邊幸子副委員長



大野委員



永津委員



渡邊麻衣子委員



梅村委員

議案第11号 北名古屋市国民健康保険税条例の一部改正について



議員

保険税の1人あたりに係る均等割額が上がってしまうと、子どもが多い世帯の、負担が大きくなるので、軽減策を考えていないか。

世帯の人数が多くなるほど、負担は大きくなるが、子供についての均等割の助成は考えていない。



市民健康部

議案第15号 北名古屋市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について



議員

今まで県が行ってきた業務が市の業務となるが、市の人員や財源などに問題はないか。

人員、財政的にも現在の職員により対応は可能である。



福祉部

議案第16号 北名古屋市介護保険条例の一部改正について



議員

介護保険料の基準収入額について、北名古屋市では10段階となっているが、他の市町では、段階や限度額を変更している市町もあるが。

国の動向や他市町の状況を見極めながら検討していく。現段階では、基準収入額について10段階で実施する。



福祉部

委員会における

建設常任委員会



牧野委員長



間宮副委員長



沢田委員



桂川委員



大原委員



阿部委員

議案第22号 北名古屋市都市農業振興基本計画策定委員会条例の制定について



議員

策定委員会のメンバー構成の選定についての考えは。

学識経験を有する方、農業者の代表として農業委員会や実行組合、農業団体の代表として農協や十五ヶ用水土地改良区、その他愛知県の職員などを考えている。なお、女性の登用も考えている。



建設部

総務常任委員会



神田委員長



上野副委員長



黒川委員



長瀬委員



平野委員



齊藤委員

議案第1号について審査し、質疑は特にありませんでした。

表紙紹介

生沼 好一郎さん

(名古屋芸術大学4年)

この作品は、「九之坪保育園」というテーマで名古屋芸術大学の学生さんに描いていただきました。

平成30年 第1回臨時会の予定

5月15日(火)	本会議（初議会）	※議長など議会役職者の選出が行われます。
----------	----------	----------------------

平成30年 第2回定例会の予定

6月5日(火)	本会議（初日）	【請願書・陳情書の提出について】 第2回定例会の審査対象となる請願書・陳情書の提出期限は、5月25日（金）の午後5時（予定）です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。
6月13日(水)	本会議（一般質問）	
6月14日(木)	本会議（一般質問）	
6月15日(金)	予算決算常任委員会	
6月19日(火)	福祉教育常任委員会	
6月20日(水)	建設常任委員会	
6月21日(木)	総務常任委員会	
6月28日(木)	本会議（最終日）	

《皆さんの声をお聞かせください》

議会だよりをリニューアルして2年が経過しました。
より充実させるため、皆様からのご意見
ご感想をお聞かせください

- メール giji@city.kitanagoya.lg.jp
- FAX (0568) 23-3140



編集後記

我々第3期市議会議員での議会だよりの編集につきましては、今号が最後になります。任期中に議会だよりの大幅なリニューアルを行い、市議会としてよりわかりやすい誌面を目指してまいりました。そして今号から市民の皆様からのご意見を反映し、右綴じへと変更いたしました。これからも北名古屋市議会そして議会だより「きたしる」をどうぞご期待ください。ありがとうございました。

